

【2022年3月 月間予定表 一東野校一】



3月の予定

1	火	休校日
2	水	
3	木	
4	金	公立中期入試直前特訓(柳辻北校)
5	土	
6	日	
7	月	
8	火	公立中期入試 / 新年度開講
9	水	休校日
10	木	
11	金	
12	土	
13	日	
14	月	
15	火	
16	水	休校日
17	木	公立中期合格発表
18	金	
19	土	休校日
20	日	
21	月	
22	火	
23	水	休校日
24	木	
25	金	春期講習開始
26	土	
27	日	
28	月	
29	火	
30	水	
31	木	

※諸事情により予定を一部変更する場合があります。

【1月賞のMVP】

- 小1 S.K さん
- 小2 K.R くん

進級テストで毎回 **満点合格!!**
学年が上がっても頑張ろうね!!

3月行事について

●春期講習……………
旧学年と新学年をつなぐ重要な講習です。短期間といえども気は抜けません。

【どんな存在でありたいか】

保護者の皆様、いつもお世話になっております。

いまナウで夜中に校舎で1人これを書いているんですけど……
寒い寒い寒い寒いさむさむさむさむさむサムサムサム samusamusamusu
ヤバいくら〜い寒〜〜〜〜〜いっっっ!!!!
……って思わず4行稼ぐくらい書くネタが思い浮かばない(^▽^;)笑

なので、大ヒット企画!

「過去に読んだ本の中から印象に残ったエピソードをご紹介します」シリーズ!!
そんなシリーズあったか?という声はさておき。

龍源寺元住職の松原泰道さんが書かれた「輝いて生きる知恵」という本の中で、私が強く印象に残った話を紹介しますね。

日本全体が貧しくて食べ物に困っているところ、ある中学生の男の子が自分のお弁当と間違えて、お父さんが山仕事に持っていくお弁当を学校に持ってきてしまいました。男の子はお昼に、お父さんのお弁当を食べるのが楽しみでした。

家が貧しかったので、いつもご飯が少なめのお弁当をがまんして食べていた男の子は、「お父さんは山で激しい仕事をするのだから、いつも、自分のお弁当よりもご飯がぎゅっり入っているに違いない」と考えていたからです。

昼休みに男の子は、期待を込めてお弁当のふたを取りました。中身を見た男の子は、「あっ」

と思わず叫んでしまいました。お父さんのお弁当は、自分のお弁当よりもはるかにご飯が少なかったのです。

「お父さんは、これっぽっちのご飯であんな激しい仕事をしているのか……」
男の子は驚きました。しかも、いつもの自分のお弁当には、干し魚がおかずに入っているのに、お父さんのお弁当には生みそと梅干が一個入っただけでした。

「これがお父さんのお弁当だ」

男の子は胸がつまりました。そして、一粒も残さないようにお父さんのお弁当をきれいに食べました。

その晩、お父さんが帰ってきて、

「お前、お弁当、間違えただろ。おなかすいたんじゃないか?」

と言って、自分の茶碗からご飯を分けてくれました。この日、男の子はたまらない気持ちで眠れませんでした。

この男の子はお父さんの姿を見て、自分より大きな人の存在を感じたことでしょう。言葉ではなく態度で伝える。子育ても教育も同じですね。

「誰にとって、どんな存在でありたいか」

それがクッキリと見えているおとなの人って本当にスゴイなと思います。
これまでに出会ったたくさんのお母さま、お父さまを通して得た実感です。

あのマザー・テレサにこんな質問をした人がいます。

「あなたがどこの国に行こうか、大統領にすぐ会える。そこで『寄付して下さい』
と言えばお金は集まるのに、なぜ、それをしないのですか?」

マザーは次のように答えました。

「その時間があれば、目の前の患者さんを一生懸命みてあげたいのです」

「でも、マザー。何をしても死んでいく病気の人たちに、なぜそこまで一生懸命なのですか?」

「このままでは彼らは『生まれてこなければよかった』と思って亡くなることでしょう。しかし彼らに『生まれてきてよかった』と一瞬でもいいから思ってもらいたいのです」

マザーは、自分のやりたいことから、まったくブレていなかった。

彼女の一番の目的は、目の前の貧困に苦しむ人たちに『生まれてきてよかった』と思ってもらうこと。そこにすべてをささげていました。

誰にとって、どんな存在でありたいかが定まると、生きる目的がブレなくなります。そしてそこに向かって毎日歩いていくことこそ、本当の幸せの道なのです。

塾長 山田 大介